

戦略	発言者	提案内容	対応方針案	担当部署
基本戦略1 (産業)	石川委員	(製造業のDX) 行政や商工会議所といった支援機関同士がこれまで以上に情報交換しながらやっていく必要があるのではないか。	支援機関同士がこれまで以上に情報交換し、事業者支援を行ってまいりたいと思います。	商工労働課
基本戦略1 (産業)	岡村委員	(製造業のDX) ある程度の規模の会社が小さい会社にかかノ ウハウ等を支援できるようなことができないか。	びんご産業支援コーディネーター、よろず支援 拠点などの専門人材の活用を促進し、経営 課題の抽出、解決を支援してまいります。ま た、解決に設備投資が必要な場合は、国・ 県・市などの支援制度の活用を支援してま います。	商工労働課
基本戦略1 (産業)	渡邊議長	(製造業のDX) いきなり企業DXという道具の話をするのでは なく、安全管理等の本質的な課題を考える 中で、DXでどう解決するのかという展開にして はどうか。		
基本戦略2 (子育て)	吉原委員	(府中版ニューボウ) 子どもと関われる時間が確保できることは大切 で、そこについてしっかりと府中市で取り組め ば、市民の充実感が高まって、素晴らしい施 策をしていていてと思っていただけるのでは。	子育て中の人の突発的なけがや病気の際 に、柔軟に対応できる環境が整うことが子育 ての充実につながると考えられるので、市内企 業への啓発等働きかけていきます。	子育て応援課
基本戦略2 (教育)	石川委員	(府中版ニューボウ) どういう子育てのしやすさを求めているのか、 ターゲットを明確にした方が良いのでは。	ニューボウ事業として、これまで妊娠期から子育 て期の人をメインターゲットとして、事業展開し てきた。人口増につなげるためには、これから 子育てする人への施策の周知や、子育てしや すい雇用環境の充実が有効であるという御意 見だと捉え、今後の事業展開を市全体で取り 組んでいきます。	子育て応援課
基本戦略2 (教育)	小林委員	(幼保－小・中－高校の連携) 子育て支援の枠がとても小さい子ばかりに限ら れており、だんだん大きくなると交流がなくな る。中学生や高校生にも焦点を置いてはどうか。	これまでニューボウを中心に子育て支援策を展開 してきましたが、ポムポムは18歳までを対象 とした児童館で、生涯学習センターTAMス クエアも多くの中高生に利用していただいてい ます。府中市に愛着をもつような支援策、例 えば子ども議会への提案や、若者の意見聴 取などの機会を通じて、こどもの声を聞いて、 有効な政策につなげていきます。	子育て応援課
基本戦略2 (教育)	高橋委員	(府中版ニューボウ) 安心して出産できるかと言われると、妊婦に とっては不安な状況が多々あるような話も聞く ので、そうしたところが今後大きな課題になる のではないかな。	市内に出産できる医療機関が無く、小児科も 限られていることで、不安につながることは十 分承知しています。その中で、府中市が現在 取り組める対策として、助産師の積極的な活 用による相談の充実や、オンラインでの小児 科・産婦人科相談を積極的にPRする施策を 実施しています。	子育て応援課
基本戦略2 (教育)	高橋委員	(教育のトップランナーの取組) 府中市の教育はここを一番重視して進めてい るという打ち出しをしていけば、転入促進や移 住に繋がっていくのではないかな。	小中一貫教育、コミュニティ・スクールの視察 依頼も年々増加しています。これまで積み上 げてきた府中市教育の魅力を広く情報発信 していけるよう、工夫を行います。	学校教育課
基本戦略2 (教育)	糸永委員	(府中版ニューボウ) 子育ての前の悩みもとても大きいという話があ る。これからという人を応援していますという目 線が子育て支援に繋がるのではないかな。	妊娠前からのプレコンセクションケアの重要性 は認識しており、国でも今後の対策を検討中 です。限りある財源を有効に活用し、子育て 支援策に取り組んでいきます。また、三原市と 同様の施策として、府中市では小児科・産婦 人科オンライン相談事業を実施しています。	子育て応援課
基本戦略2 (教育)	小川委員	(幼保－小・中－高校の連携) 上下だからこそ、やりたい放題できるような環 境をCSも含めた動きで、有意義に使えるよう なサポートが出来れば良いのではないかな。	本年度の府中市子供の学び応援基金を活用した 上下中学校の「お笑いライブ」の開催 等、児童生徒の挑戦できる教育体制を引き 続き、充実させていきます。	学校教育課

戦略	発言者	提案内容	対応方針案	担当部署
基本戦略 3 (賑わい)	石川委員	(スポーツ施設等の充実) スポーツ施設においても、ただ単に利用が多いというだけでなく、収益性があり、産業化に繋がるよう進めていただきたい。	市と指定管理者で、この課題を共有し、上下地域では、地域関係者と協議しながら、また、府中駅南エリアでは、エリア内の各施設と連携しながら、スポーツ施設で生まれた賑わいを波及させていきたいと考えます。	スポーツ振興課
基本戦略 3 (賑わい)	石川委員	(安心な暮らしを確保する公共交通) 福塩線の利用促進は必ず必要で、それは観光と連携したものであったり、あまり利用していない方々に利用してもらうことが必要ではないか。	福塩線沿線市町からなる福塩線対策協議会において、沿線を通じた広域的な利用促進を行っているところです。府中市においても、昨年度作成した福塩線を題材とした絵本を活用し、普段利用されない（これから利用して貰いたい）児童やその家族への利用促進、意識醸成も行っております。引き続き、利用に関する情報を日頃利用されていない人にも分かりやすい形で提供し利用促進に努めてまいります。	都市デザイン課
基本戦略 3 (賑わい)	石川委員	(安心な暮らしを確保する公共交通) 小さい子どもにバスの乗り降りの指導等、1人でも乗れるような教育をしてはどうか。	安全面からのバスの乗降指導を行っています。教育指導としての日常的なバス利用については、各家庭の状況も異なることから、保護者の意見を踏まえて検討する必要があります。(中国バスと都市デでバスの乗り方教室を募集しています。団体向けですが、小学校などでも活用していただければ。)	学校教育課 都市デザイン課
基本戦略 3 (賑わい)	吉原委員	(情報発信の強化) オオムササキの何かというようにもっとPRした方が良いのではないかな。	広報キャラクターである大夢楽咲煌ちゃんの活動を含め、より良い情報発信のやり方を検討してまいります。	政策企画課
基本戦略 3 (賑わい)	酒井委員	(ひととのつながり) 移住・定住施策について、情報発信、空き家バンク、お試し居住などの様々な取組を行い、移住相談件数など、一定の成果があったと考えられる。広島県の移住相談窓口（東京）の相談者の 8 割が移住の決め手を「仕事」と回答しており、移住希望者が移住を実現するためには仕事の確保が重要であることから、移住相談者の府中市への移住により繋げていくために、仕事の確保の観点から取組について振り返り、課題を踏まえた対策を検討してはどうか。	今年度は、県の移住コーディネーターと連携し、お試し住宅の利用者をアテンドし企業訪問を行いました。その後、その企業にインターンシップを経て雇用され移住につながった事例もありました。 今後も、移住希望者が相談しやすい「仕事・住まい・生活」のワンストップ窓口や関係機関と連携した仕事の確保対策や仕事の紹介など移住者増につながる施策を検討してまいります。	総務課
基本戦略 3 (賑わい)	酒井委員	(交通戦略) 本年3月、地域公共交通に係る課題等を整理し、市民アンケート調査結果も踏まえながら、交通戦略として「府中市地域公共交通計画」を策定し、現在、計画の実現に向けて取り組まれている。このことは、総合戦略（交通戦略）で掲げる「誰もが利用しやすい移動手段の確保」に大きく関わるため、計画の実現に向けて、関係者がしっかりと連携して着実に取り組んでいただきたい。	府中市地域公共交通計画における取組は、府中市地域公共交通活性化協議会を中心に実施していきますが、総合戦略など関連計画とも整合を図るとしており、関係者のみならず市民と共に着実に取り組んでまいります。	都市デザイン課
基本戦略 4 (安心安全)	小川委員	(フレイル予防、通いの場でのICT活用) フレイル予防から始まる健康関連については、みんなで一緒にやり遂げたという達成感をもっと刺激するようなプログラムや家族単位で遊べるようなものの方が全員の参加がしやすいのではないかな。	健康づくりやフレイル予防への関心を高めるための周知や啓発、気軽に参加できるきっかけづくりや仕組みづくりに取り組んでいきます。	健康推進課
基本戦略 4 (安心安全)	石川委員	(地域共生の推進) 地域活動にインセンティブをいれてはどうか。	全国的には「地域ポイント」などの取組を実施し、地域活動への参加促進、地域経済の活性化につながる取組を行っている自治体もあります。他市の事例なども参考し本市での導入可能性を探りたいと考えます。	総務課